

一般講演・口頭発表 O-08

ブルーギル用カゴ網でカメを捕る

佐藤方博 (認定NPO法人 生態工房)

Catching freshwater turtles by the trap for bluegills

Masahiro SATO (NPO Eco-works)

池沼などの止水域で問題となる外来生物には、アカミミガメのほか、ウシガエルやブルーギルなどがあり、これらが同所的に生息している場所も多い。これらの各種を合わせて防除したい場合、同じ漁具や方法で同時に捕獲できれば、作業労力や漁具の調達・保管コストの軽減になる。筆者はブルーギル捕獲のために遮光型カゴ網を用いたところ、しばしばカメが入網し、この漁具がカメの捕獲にも使えることがわかった。この漁具の特徴と、これを用いたカメの捕獲方法について報告する。

(1) 仕様

遮光型カゴ網(図1)はブルーギル捕獲用の漁具で、組み立式アイ箆陰付の商品名で市販されている(近江網工業, 6,700円)。直径73cm, 高さ65cm, 天蓋部にある遮光シートで陰を形成して生物を誘引する。

(2) 捕れた生物

筆者の活動地(止水域)で遮光型カゴ網を用いたところ、アカミミガメ、クサガメ、ニホンイシガメ、スッポンが入網した。魚類ではカムルチーなど14種、両生類はウシガエルなど2種、甲殻類はアメリカザリガニなど3種といった具合にさまざまな分類群の生物が入網した。都立光が丘公園の池で捕獲された生物の遮光型カゴ網による捕獲割合を図2に示した。アカミミガメの入網割合が低かったのは、当地ではアカミミガメが根絶されているが新たに遺棄されることがあり、カゴに入る前にタモ網で捕獲されたことによる。

(3) 漁具の特性

遮光型カゴ網は、一般的なカニカゴと比べると誘引餌が不要なので手間がかからない。開閉などの操作性や網の耐久性はカニカゴと同程度。価格はカニカゴよりもやや高い。捕獲効率の検証は今後の課題である。深い水域で使用する際はカメの溺死を防止するため長網加工した製品を用いるとよい(加工代1,200円)。混獲された生物のカメによる被食・損傷を軽減するため、ワナ設置後は適宜ワナの見回りが必要である。



図1. 滋賀県水産試験場によって開発された遮光型カゴ網

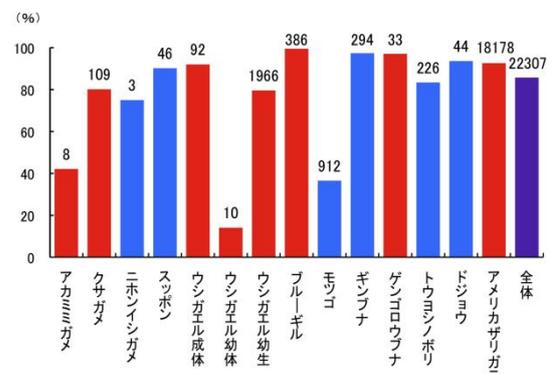


図2. 捕獲数に占める遮光型カゴ網での捕獲割合 (2013年)